

# 認知症の専門病院として、 医療・介護・福祉の統合を目指す東八戸病院

## 認知症を正しく知ろう

日本はすでに急速に進む高齢化社会を迎え、2020年には認知症を抱える高齢者は300万人に達すると推測されます。しかし、認知症に対する正しい理解や認識は、まだまだ十分とは言えません。

認知症は、「単なるもの忘れではなく、れっきとした病気」（難治性の進行疾患）であり、鑑別が難しいうつ病やせん妄等の疾患とも異なります。

「脳や身体の疾患を原因とした後天的な障害であり、記憶・判断力などの障害が少なくとも6ヶ月以上続き、普通の社会生活が送れなくなった状態」と定義され、様々な症状によって日常生活が困難となった状態であるという点を理解、認識することが大事なのです。

原因疾患は多岐にわたりますが、もつとも多いのが「アルツハイマー型認知症」で認知症の半数以上を占め、次に多いのが「血管性認知症」であり、この二つで認知症の約8割を占めます。

そして、「第3の認知症」と言われているのが「レビー小体型認知症」で、若年性認知症の代表的な疾患がピック病（前頭側頭型認知症）と呼ばれるものです。

まずは医療機関で精査、診

断、治療または治療方針を決定し、家族、他の認知症関連職、施設、家族会等と連携し、患者様により適した治療、介護、援助等を行うことが重要です。

## 認知症の症状・治療等について

ここからは認知症の症状、早期発見の大切さ、治療、予防等について、簡単に述べます。

① 認知症の症状は中核症状（中心となる症状）とそれによって起る周辺症状とに分けられます。

中核症状は記憶障害、判断力低下、見当識障害、言語障害（失語）、失認、失行、実行機能障害等の認知機能が障害された症状です。

周辺症状には精神症状や行動障害（問題行動）が含まれます。不安、攻撃的行動、幻覚、妄想、睡眠障害、徘徊、介護への抵抗、食行動異常、抑うつ、依存等の症状が見られます。

② 認知症は原因疾患によって治療可能なものや、早期に発見・治療をすることで症状の進行を遅らせることができるものもあります。早期発見が大切な



豊かな緑に囲まれた同院の屋上テラスからは、太平洋を見渡すことができる

は、進行性の疾患であるだけでなく、中には治療可能な認知症があるためです。一部の脳腫瘍、慢性硬膜下血腫、正常圧水頭症、脳炎、ビタミン不足、甲状腺機能低下症等で、早期に見つけることにより、適切な治療を行うと症状が治ったり、軽くすることが可能です。

③ 治療は薬療法と非薬療法のみならず、家族や介護者とのサポート体制が必要です。



また、その予防については、今後の急速な高齢化社会で我々専門医が一番力を入れなければならない仕事です。例えばパランスのとれた食生活、脳の活性化トレーニング、一般的な認知症予防、認知リハビリテーション等が挙げられます。

患者様やご家族様の立場から、心と生活をサポートするために

当院は、青森県内では唯一の日本老年精神医学会認定施設です。院内は、患者様ご家族様に、より快適でリラックスした和やかなひと時を過ごしていただける

よう、ゆったりとした開放的な明るい空間設計となっております。

医療相談室では、認知症をはじめとする受診・入院から各種手続き（成年後見人制度・権利擁護事業・障害者自立支援法・介護保険等）についてのご相談、地域・関係機関（病院・施設・市町村等）との連携、ケアマネジメント業務等を通じて、皆様

の心と生活をサポートすることに努めています。また、当院では認知症の早期発見・早期治療のために「もの忘れ専門外来」を常時開設しています。

その他、入院中の食事を治療食と位置づけ、患者様の症状を各専門職の立場から詳細に検討し、個々の患者様に合ったメニューで食事を提供することにより、骨粗鬆症の予防や治療、ADL低下の防止に効果を上げています。

これからも、当院では、患者様が安心して治療・静養できる環境づくりに配慮し、専門の医師とスタッフが責任をもって、より質の高い医療と介護の提供に努めてまいります。（秋山弘之院長記）

HIGASHI HACHINOHE HOSPITAL  
**東八戸病院**  
 診療科目：神経科・精神科・循環器科・内科  
 〒031-0833 青森県八戸市大字久保字西ノ平25-440  
 TEL 0178-32-1551 FAX 0178-32-1550  
 E-mail jimukyoku@higashi-h-hp.jp URL http://www.maru-navi.net/higashi-h-hp/